

## ▽四国

### 「退職後やりたいことリスト」から

井津 葉子(RKC)

定年後の嘱託雇用も満期を迎え、この春、退職しました。43年の在職中は各局の皆様には番組制作や責任者会議、コンクール等で大変お世話になりました。感謝申し上げます。

さて、「退職後やりたいこと」の一つに「スイス旅行に行く」というのがあり、6月に実現しました。

マッターホルン、モンブラン、ユングフラウ、アイガーなどの山々を訪れ、ハイキング(初級向け)も体験。世界遺産の絶景列車も乗り、感動の連続でした。

想定外だったのは「暑さ」。夏でも4000m級の山は極寒。でも、



マッターホルンを背景に

下りたらまさかの「猛暑」。汗を掻きつつ辿り着いたホテルはエアコンなし。この夏のヨーロッパの猛暑はニュースにもなっていました。地球温暖化の影響を体感した事でした。

他に心に残ったのが「言葉」です。九州程の広さのスイスで、公用語がドイツ語・フランス語・イタリア語、そしてロマンシュ語の4つ。英語はどこでも使えますし、観光客の中国語や韓国語も耳にしました。こんな環境にいと、相手の言葉が違ふのは当たり前。日々、これを理解するための努力が求められるでしょう。

比べて日本では、日本語だけ話せば不自由なく生活できます。言葉が通じなくてもなんとかしたという実績を多くの人が持っています。

私自身の経験ですが、アジア系外国人の人に道を聞かれて下手な英語で説明したのに、うまくいきませんでした。「外国人は英語なら通じる」と思い込んでいたのです。そうではない国がある事を後で知りました。

「退職後やりたいこと」のもう一つが「日本語教師になる」。アウンサーの経験を活かせる何かを求めて、出会った目標でした。現在は、高知県南国市の国際交流協会外国出身の人たちと日本語を勉強しています。



七夕の伝統行事体験

言葉や文化が違う中、日本に馴染もうと努力している人に寄り添いながら、自分も少しでも成長できればという思いで取り組みを始めています。

### 〇〇のひとつ覚え「孫の手」削る

塩出 栄(RNB)

始まりは氏神様でお正月に飾った「門松」の竹の始末を請け負ったことでした。普段使っていた孫の手を真似て竹を削ってみると案外うまくできあがり、老人会などで配ったところ、皆さんから好評をいただきました。それからほぼ10年、毎年冬の午後の陽だまりの中で作業しています。割る、削る、曲げる、磨く、で過しています。

ここ2年ほどは、近所の福祉施設の売店に持ち込んだところ、1本百円でポツポツ売れているそうです。この施設では毎年10月中旬に「感謝祭」が開かれます。中学生のブラスバンド演奏やカラオケ大会、老若男女大勢が参加する「ふるさと音頭」の演舞のほか数台のキッチンカー、近隣福祉施設のクッキー売店などが並び、賑わいますので「孫の手」を20本ほど追加しておこうと思っています。



手作りの孫の手